

No.53 会議の功罪 業務合理化

義高 互

教師の長時間労働が問題視され、時間が経過しました。部活動など改善が示されましたが、基本的な部分は改善がすすみません。学校が授業を行う、という本質部分が軽視され、合理化が進んでいないようにも見えます。

なぜ授業以外の部分が減らないのか。

生徒は授業を受ける。教師は授業をする。のが学校の本質です。授業以外の事も必要があり始めたはずでしょう。事は長短を合わせ持ち、功罪ともにあります。ですので問題提起のため、今回は敢えて暴論、極論を提示したいと思えます。

この極論は特に中学校で当てはまると思えます。授業中心の学校にならず、学校が多忙化するのには会議が原因である。会議をなくそう。暴論・極論を承知の上です。

極論を説明するため、学校をレストランに例えます。教師は料理人、子供はお客、学習する教科はコース料理です。オーナーは文部科学省にしましょう。オーナーがレストランをデザインしました。必要な全て盛り込んだコース料理で規定の時間にお客が食べるレストランです。料理人は各教科の教師、教科をコース料理で提供します。ちょうど満腹になる量です。

コース料理の出来がレストランの価値です。料理人はコース料理で手一杯です。ところが料理人は、ちょうど満腹のコース料理以外にメニューを足していきます。お客はコース料理以外のメニューで腹痛を起こしています。料理人は忙しくなり倒れるものも出ました。本質のコース料理の味も落ちてきました。

これが今の学校の姿でしょう。なぜ料理人はコース料理にメニューを足したのか、それは会

教師の業務合理化

- 長時間労働、希望者減少の中
- なぜ授業以外の業務が減らないのか

会議

- 職員会議 授業の他に何をやるか
- 分掌部会 授業以外にやることを提案
- 授業以外のことが提案され、評価される実態



議です。学校に戻ります。職員会議で授業の話題がどのくらいありますか。生徒指導とか学び部会等の分掌部会で、授業の話題がどのくらいですか。職員会議では授業以外の話が多くないですか。校長先生は授業以外のことを多く提示してませんか。学力向上が大事なら授業と準備に集中、それ以外しないが最も効果的なのはです。運営委員会では各分掌部長が、授業以外に頑張っているアピールになっていませんか。分掌部会は授業以外にどれだけ活動するか、という目的になっていませんか。

授業中心の筈の学年部会でも学年行事をどうするか、などのイベントの話題が増えていませんか。今生徒は勉強するなら学習塾、となっています。教師がつかれ、教師志望も減り不登校が増えています。確かに必要があって始めた会議や分掌でしょう。長短あります。しかし思い切って分掌や会議をやめ、授業一本に絞る選択があっても良いかもしれませんよ。

END

